

(1) あいさつのよくできる子

- ・明るく、元気よく、気持ちのよいあいさつができるようにしよう。
- ・授業の始まりと終わりのあいさつをきちんとしよう。
- ・「はい」と元気よく返事をしよう。

(2) 学校をきれいにする子

- ・清潔で、きちんとした服装をしよう。
- ・机の中の整理整頓や使った道具はきちんと元の場所にもどそう。
- ・真剣にそうじをしよう。

(3) ねばり強い子

- ・きまりや約束、時間を守ろう。
- ・休み時間と授業の区別をしっかりつけよう。

(4) みんなとなかよくする子

- ・やさしい言葉をつかおう。
- ・用もなく友達の体や持ち物にさわらないようにしよう。

(5) 進んで勉強する子

- ・学習に必要なものは持てこない、身につけないようにしよう。
- ・ていねいなノート作りと発言をがんばろう。

☆学校へ来るとき

- ・ヘルメットや黄色い帽子をかぶり、防犯ブザーを着用します。
- ・集合場所を出発してからは忘れ物に気づいても取りに帰りません。（忘れ物をしないようにします。）
- ・学習に必要なものは、学校に持てきません、身につけません。
- ・通学路を正しく並んで、7時55分から8時10分に学校に着くようにします。

☆学校生活では

(1) 服装について

- ・名札は、学校に置き、朝来たら着けて、帰りにとります。
- ・体育の授業では、半そで、短パンの下にスパッツ、ひざ上ソックスや長そでのシャツなどは着ません。

(2) 授業や休み時間の過ごし方について

- ・チャイムを守って行動します。
- ・廊下・階段は右側を静かに歩きます。
- ・学校に来たら、学校から外へ出ません。
- ・他学年のフロアへは用事がない限り行きません。
- ・授業の準備や後かたづけをきちんとしてから、休み時間にします。
- ・体育倉庫・特別教室・体育館・トイレ・門のまわり・車のまわりで遊びません。
- ・運動場の状態が悪い時は、赤旗が出るので外へ出ません。
- ・遊具やボールは正しい使い方で仲良く遊んで、使った人が元の場所にもどします。
- ・なかよしランドの中は走りません。
- ・はきものは（下駄箱の靴、上ばき、トイレのスリッパ）きちんとそろえます。
- ・放送が入ったら、その場で止まり静かに聞きます。



☆帰るとき、帰ってから

(1) 下校時刻 5時間授業のとき、午後2時55分

6時間授業のとき、午後3時45分

授業後の特別な活動や運動場に遊びに来ている場合

2月 1日～10月10日 午後4時55分

10月11日～1月31日 午後4時30分

※学校の外で遊んでいる場合は暗くなる前に家に帰りましょう。

(2) 学校の外で

・外出する時は「だれと」「どこへ行く」「何時に帰る」を家人にはっきり伝えて遊びに行きます。

・危ないところでは遊びません。(道路・駐車場・深い川や池など)

・自転車に乗るときはヘルメットをかぶります。

・学校の敷地内では自転車に乗りません。

・学校で遊ぶ時は、校内にお菓子を持ちこみません、食べません。ゲームを持ってきません。

・危険を感じたら、笛やブザーで知らせたり、走って逃げたりなど、急いでその場から離れます。「こども110番の家」に逃げこみます。

・大型ショッピングセンターに行くときは、大人の人と行きましょう。

・お金の貸し借りや、おごったりおごってもらったりしません。

・携帯電話やインターネットの使用について、家庭でルールを決めましょう。

【豊川市の共通ルール】 午後9時から午前7時は、LINEなどのSNSやメールを送らない。

☆持ち物について

(1) 筆箱について

すいしょふではこなかみ
推奨する筆箱の中身は

・鉛筆5～6本

※低学年はBまたは2Bをおすすめします。

※全年年シャープペンシルはもってきません。

・赤鉛筆(高学年は赤ペン・3色ボールペンでもいいです。)

・よく消える消しゴム1～2個

・定期(折りたたみのものは壊れやすいので、使用しません。)

・名前ペン

・蛍光ペン1本(高学年)

・キーホルダーのついた文房具やマスコット消しゴム(においつき消しゴムのように消えにくい消しゴム)は、学校では使用しません。



(2) キーホルダー等について

自分のランドセルを見分ける目印として、キーホルダー等をつける場合は、華美にならないようなもの1つにします。

・高価なものや紛失して困るものは避けます。

・筆箱にはつけないようにします。

・お守りは大切なもののなので、ランドセル内側のポケット内に入れていただくなどの配慮をお願いします。

いかじれいみせんぬせりかい
以下の事例を未然に防ぐためとご理解ください。

・チェーン部分が長いキーホルダーが通学路にあるフェンスに引っかかって児童が転倒し負傷。

・友達のキーホルダーが羨ましく思った子が引っ張ってしまい破損させる。

・筆箱についたキーホルダーが引っかかり、筆箱が開かずて授業が中断してしまう。

・キーホルダーの落とし物が毎年たくさんあり、持ち主が現れない。